



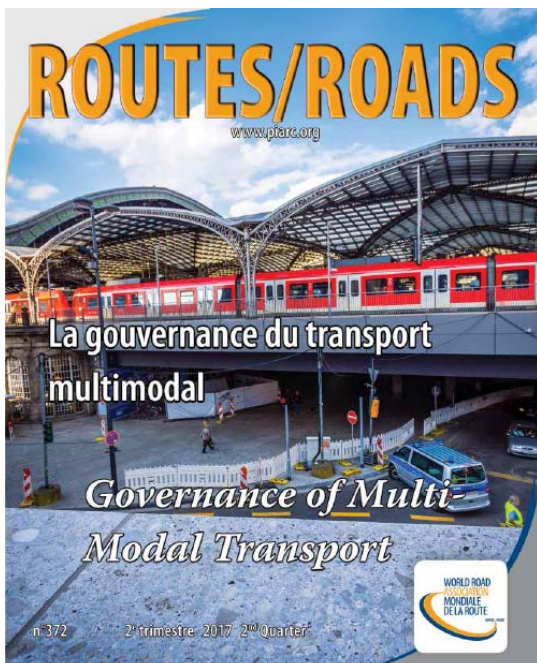
平成 29 年 4 月

PIARC 日本国内委員会事務局からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さま

日頃より PIARC へのご支援・ご配慮をいただき、誠にありがとうございます。会報 ROUTES/ROADS 第 372 号の発行にあわせまして、今号の内容紹介をお届けいたします。

1. ROUTES/ROADS 最新号 巻頭記事



【今号の特集】

マルチモーダルな交通体系のガバナンス

【巻頭記事】

Claude Van Rooten 氏 (PIARC 新会長・ベルギー)

PIARC 実行委員会を離れて四年が経過した今日、協会の新会長として再びここに戻ってこられたことに対し、私は深い恩恵と感謝を感じています。PIARC から離れていた四年間、協会が私の興味・関心から遠く離れたことは一度たりともありませんでした。こうして新たに世界道路協会の健全な運営を任されるに際し、前活動サイクルにおいてその強固かつ賢明なリーダーシップを発揮された前会長の Oscar de Buen 氏に対し敬意を表したいと思います。2015 年 11 月に韓国・ソウルで開催され類まれなる成功を収めた世界道路会議は、彼の偉大な功績の集大成の

場となり、私もその会議に参加できたことは大変光栄なことです。また、長年にわたり協会の知識の蓄積とその普及に貢献してこられた全ての関係者の方々に対し、謝意を表したいと思います。

PIARC は、多様性と柔軟性に富んだ会員各国が直面する技術的諸課題およびその期待に応えるべく、オンラインマニュアルやスペシャルプロジェクト等といった新たな成果物を生み出し、協会出版物の一部として継続的に組み込んでいます。さらに、世界で最も広く普及している英・仏・西語の使用を通してより多くの協会会員の方々が各種成果物にアクセス出来るよう、我々の言語政策の改正も大きな混乱を招くことなく実施されました。

以下、私の会長としての任期が始まるに際し、皆さまの貴重なお力添えのもと取り組むべき重要な 3 つの項目について強調させていただきます。

まず最も重要なのは広報です。私も以前、PIARC 広報委員会の委員長として活動していたことがあります。世界道路協会は設立後 100 年以上の歴史を有し、かつ永遠の若さを保った団体です。協会活動およびその成果物の質においてこれまで以上に一般および PIARC 会員の方々に最も高く評価していただけるよう、今、行動を起こさなければなりません。

二つ目は、現活動サイクル(2016-2019)における戦略計画(Strategic Plan)の着実な履行です。Strategic Plan は、協会活動の中核をなす行動計画です。2019 年にアラブ首長国連邦・アブダビにて開催される世界道路会議における確かな成果の提供に向けて、私たちは共に手を携え、2015 年に承認されたこの現行 Strategic Plan に定められる目標を達成する必要があります。

三つ目は、協会の財政体質の強化です。これは、毎回新会長が就任するたびに議論が必要となる事項です。PIARC の強靱かつ健全な組織体質にもかかわらず、協会会員のニーズに応え我々の信じる道を進む勇気を持ち続けるためには、新たな財源の確保に対しても常に敏感である必要があります。

ここに掲げる目標の達成には全ての関係者の参画が不可欠です。私は「collaboration(協力)」および「dialogue(対話)」という言葉が協会会員、とりわけ、政府会員および各国第一代表、またすでに協会との緊密な関係を構築している多くの各国・地域道路協会と結び付け、それぞれのニーズに効果的に対応し、そして最終的には、「マルチモーダルな交通体系」がすなわち道路以外の他の交通機関とのつながりを意味するように、外部の主要な各種協会・団体とのつながりを構築したいと考えています。こうした協力精神はまた、PIARC 事務局長にも当てはまるものと私は認識しています。私は先日彼と面会しましたが、彼の協会への献身ぶりはここでの賛辞に値します。事務局長である Patrick Mallejacq 氏との数年にわたる職務上での緊密な付き合いから、彼が必要な決意および能力を有したうえで上述の諸課題に率先して取り組まれるものと私は確信しています。

この巻頭記事を締めくくるにあたり、PIARC 総会が私にこのようなミッションを授けて下さったことを大変名誉に思います。私はこのミッションに対し、謙虚な姿勢と、世界道路協会の設立メンバーであり1910年と1987年の二回にわたり世界道路会議を開催したベルギー出身の人間としての誇りを抱きつつ、協会の長として取り組む所存です。

最後に、私に対する皆さま方の信任に対し、ここに厚く御礼を申し上げます。

(筆者和訳)

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ 第 17 回アルゼンチン国際道路・交通会議参加報告 ----- 9 項
- ✓ 国連世界保健機関(WHO) 道路安全コラボレーション会議参加報告 ----- 11 項
- ✓ 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP) 運輸担当大臣会合 高級事務レベル会合参加報告 ----- 13 項
- ✓ 第 96 回 TRB 年次総会参加報告 ----- 15 項
- ✓ 舗装の温度縦ひび割れ現象:赤外線画像解析による検出(カナダ・ケベック) ----- 19 項
- ✓ マリにおける道路交通安全対策 ----- 27 項
- ✓ PIARC 国内委員会 新代表より: 「すべての道はローマに通ず」 ----- 35 項
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介:Veronica Arias (メキシコ・PIARCテクニカルアドバイザー) ----- 39 項
- ✓ 各国の道路・交通部門におけるマルチモーダルな交通体系のガバナンスの促進 ----- 45 項
- ✓ オーストリアにおけるマルチモーダル計画 ----- 49 項
- ✓ スペインにおけるマルチモーダル計画に関するガバナンスおよび意思決定 ----- 59 項
- ✓ フランスの道路・交通局による各組織体系および政策の刷新 ----- 67 項

- ✓ 総合交通ポータルフォリオの構築: 西オーストラリア州における組織構成 ----- 75 項
- ✓ スウェーデンにおけるマルチモーダル計画 ----- 83 項
- ✓ オーストラリア・ニューサウスウェールズ州におけるマルチモーダル交通政策 ----- 91 項
- ✓ ハンガリー・ブダペストにおける各交通管理部門の統合 (Centre for Budapest Transport の構築) -- 97 項
- ✓ 各種出版物のご案内 ----- 113 項

3. 国際冬季道路会議 2018 に関するご案内



第 15 回 PIARC 国際冬季道路会議が、2018 年 2 月 20 日から 23 日にかけて、大会のテーマ「Providing Safe and Sustainable Winter Road Service」のもとポーランド共和国のグダニスク市において開催されます。なお、日本の関係者の皆さまからも大変多くの論文アブストラクトのご応募を頂きました。ここに厚く御礼を申し上げます。

論文審査に関する今後のスケジュールは以下の通りです。

2017年4月30日	論文アブストラクト審査結果通知
2017年7月31日	本論文提出期限
2017年10月31日	本論文審査結果通知

詳細情報については下記リンク先をご参照ください。
(大会公式 HP) <http://aipcrgdansk2018.org/>

また、その他大会に関するお問い合わせにつきましては下記メールアドレスまでご連絡をお願いします。
gdansk2018@piarc.org (日本語可)

PIARC の活動に関するご質問等がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)
安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局
宮崎: junichi.miyazaki@piarc.org

今後とも、皆さまのご指導・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局